

名
称

法留用コンクリート基礎

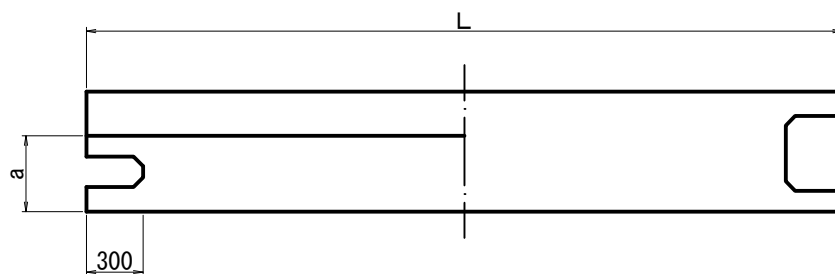
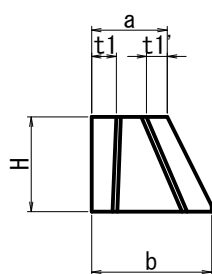
標準設計番号

河－ I － 1

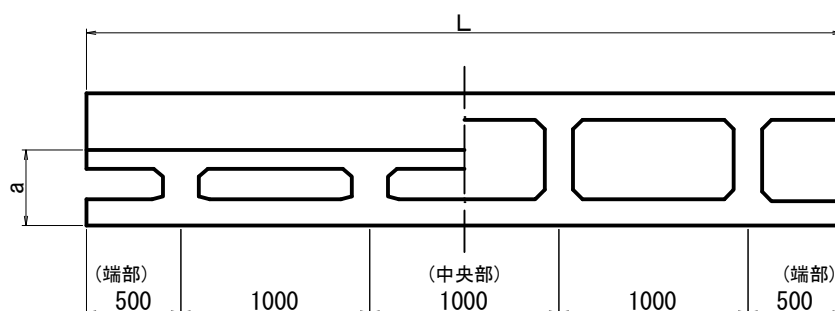
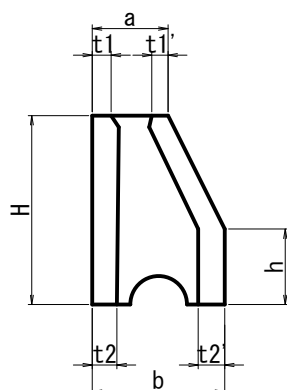
工種記号

基－ P

1 型



2～6型

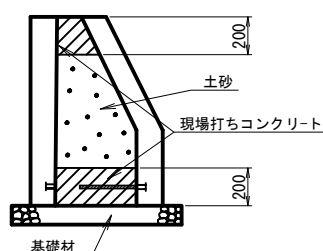


タイプ	寸 法 (mm)									参考質量 (kg)
	H	a	b	h	t1	t2	t1'	t2'	L	
1 型	500	400	635	—	130	—	110	—	4000	2230
2 型	800	400	600	400	140	120	140	120	4000	2610
3 型	1000	400	700	400	100	130	90	140	4000	3080
5 型	1300	500	900	500	150	140	130	150	4000	4760
6 型	1500	600	1000	700	160	150	155	150	4000	6100
許容差	$+20, -10$	± 5	± 5	± 5	—				$+10, -5$	—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ ブロック同士の接合は専用連結プレートを使用し、中詰土砂及びコンクリートを打設する。

参考図表



中央部断面図

参考数量

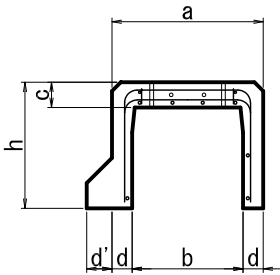
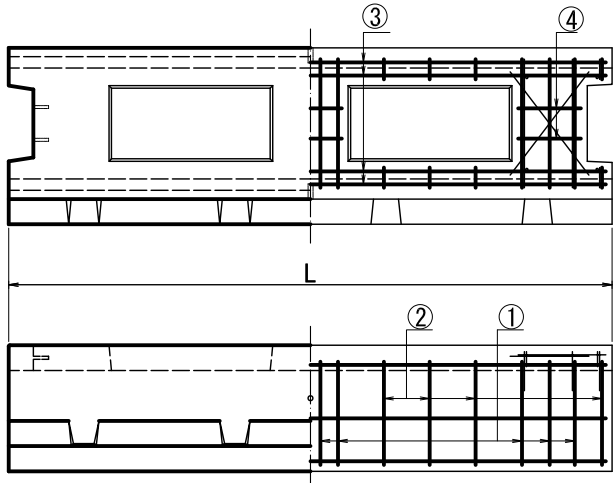
(製品長L=4.0m当り)

タイプ	中 詰 量 (m ³)			基 礎	
	端部(ジョイント部) コンクリート	中央部		基礎材料 (m ³)	基面整正 (m ²)
		コンクリート	土 砂		
1 型	0.078	—	—	0.334	3.34
2 型	0.162	0.485	—	0.320	3.20
3 型	0.275	0.328	0.498	0.360	3.60
5 型	0.492	0.459	1.018	0.440	4.40
6 型	0.678	0.545	1.488	0.480	4.80

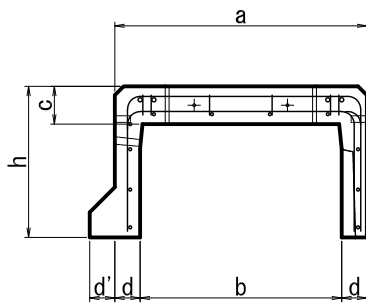
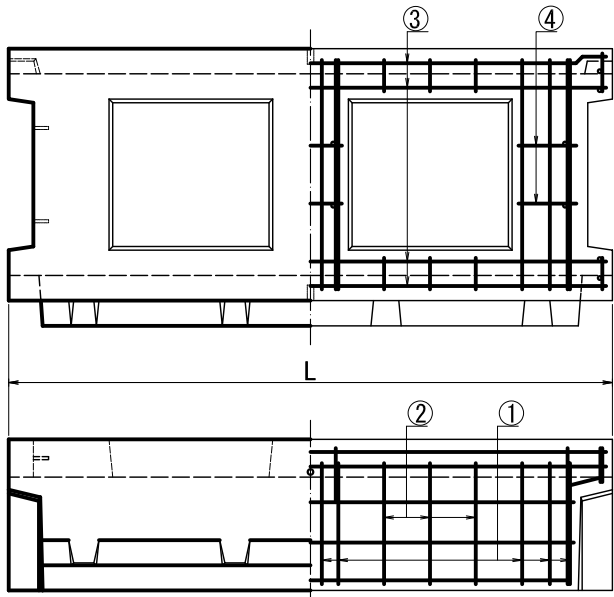
注) 2型の場合、中央部の中詰材については全てコンクリートである。

名 称	鋼矢板用コンクリート基礎	標準設計番号	河－Ⅰ－2
		工種記号	基－Ⅴ

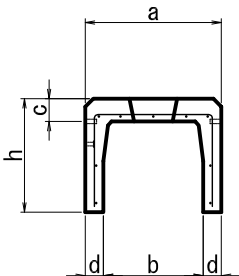
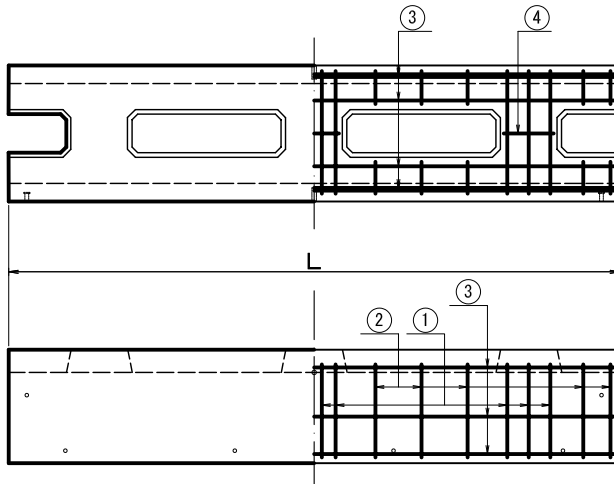
A・C型



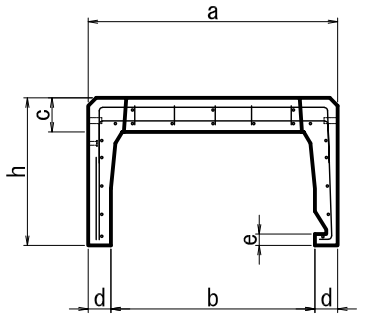
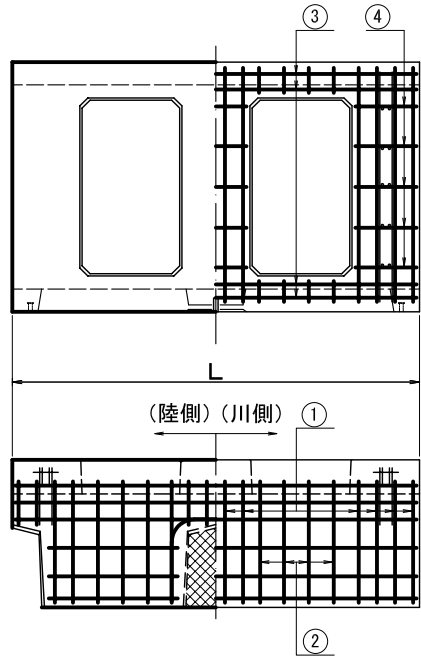
B・D型



H₁・H₂型



H₃・H₄型

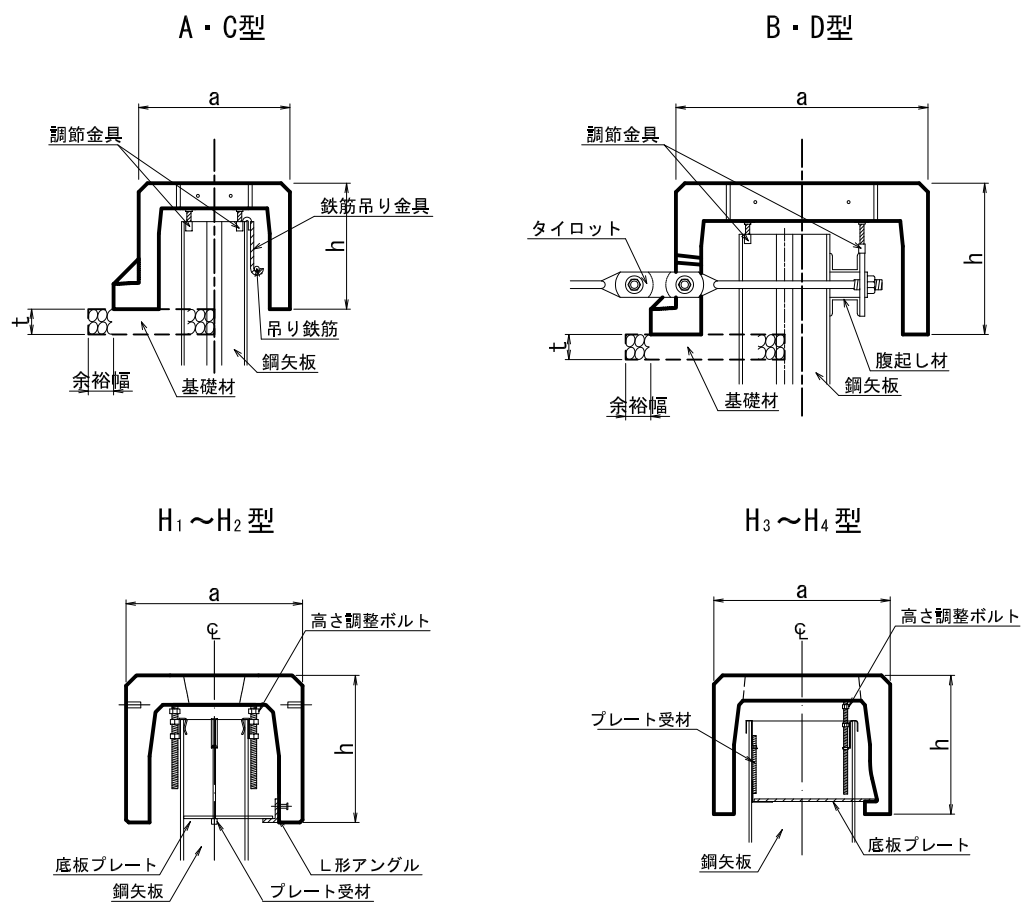


呼び名	寸 法 (mm)								参考質量 (kg)
	a	b	c	d	d'	e	h	L	
A 型	600	440	100	80	100	—	500	2396	680
B 型	1000	800	150	100	100	—	600	2396	1090
C 型	700	540	100	80	100	—	500	2396	700
D 型	1300	1060	150	120	—	—	800	2396	1630
H ₁ 型	600	440	100	80	—	—	500	2694	707
H ₂ 型	700	540	100	80	—	—	500	2694	740
H ₃ 型	1100	900	150	100	—	50	650	1796	824
H ₄ 型	1100	900	150	100	—	50	850	1796	970
許容差	±3	±3	±5	±3	±3	±3	±3	±5	—

呼び名	鉄 筋							
	①	②	③	④	①	②	③	④
A 型	D10	10	D10	16	D6	6	D6	6
B 型	D10	10	D10	16	D6	8	D6	6
C 型	D10	10	D10	16	D6	6	D6	6
D 型	D13	12	D13	16	D10	12	D10	12
H ₁ 型	D10	10	D10	20	D6	8	D6	3
H ₂ 型	D10	10	D10	20	D6	8	D6	3
H ₃ 型	D13	12	D13	16	D10	12	D10	15
H ₄ 型	D13	12	D13	16	D10	12	D10	15

- 特記事項
- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
 - ・ 鉄筋はSD295とする。
 - ・ 法留タイプも可能。

参考図表



参考数量 延長2.4m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 (mm)	中詰コン クリート (m ³)
A 型	100	100	0.46
B 型			1.00
C 型			0.57
D 型			1.80

参考数量 H1, H2型 : 延長2.7m当り
H3, H4型 : 延長1.8m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 (mm)	中詰コン クリート (m ³)
H ₁ 型	100	100	0.50
H ₂ 型			0.62
H ₃ 型			0.88
H ₄ 型			1.20

鋼矢板用コンクリート基礎 適用範囲

呼び名	矢板の種類		
	普通鋼矢板	広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板
A 型	I 型～Ⅲ型	Ⅱ 型	—
B 型	I 型～Ⅲ型	Ⅱ 型～Ⅲ型	—
C 型	Ⅲ _A 型～Ⅳ _A 型	Ⅱ 型～Ⅳ 型	—
D 型	I 型～Ⅳ _A 型	Ⅱ 型～Ⅳ 型	—
H ₁ 型	—	—	SP-10H
H ₂ 型	—	—	SP-25H, SP-45H, SP-50H
H ₃ 型	—	—	SP-10H, SP-25H
H ₄ 型	—	—	SP-10H, SP-25H

名称

大型張ブロック

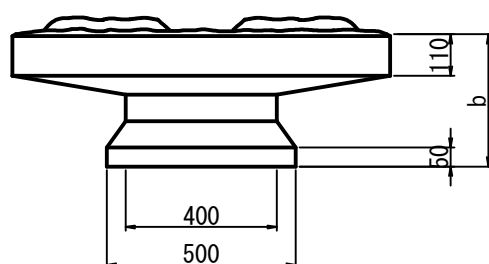
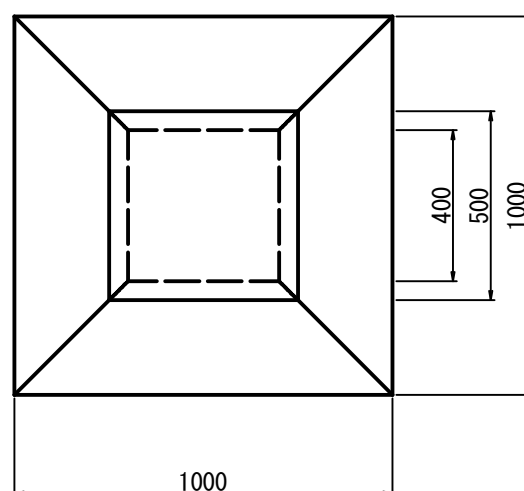
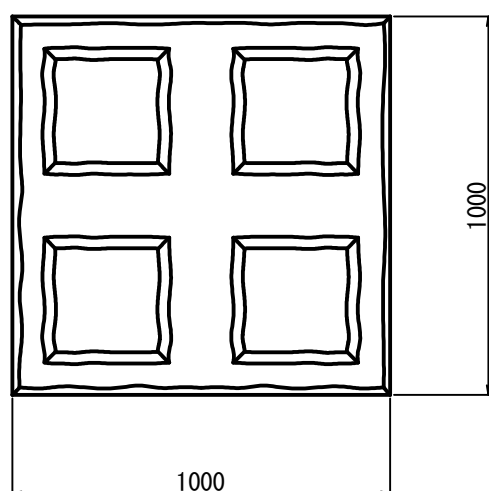
標準設計番号

河－Ⅱ－5

工種記号

張－(大型)

I 型



タイプ	b寸法 (mm)	質量 (kg)
1	0.35	400
2	0.45	455
3	0.50	485

寸法許容差

面	控え
+5, -3	+10, -5

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 間知ブロック張を基本とし、面を大型にしたブロックとする。
- ・ 面の模様は自由とする。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。
- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。

参考図表

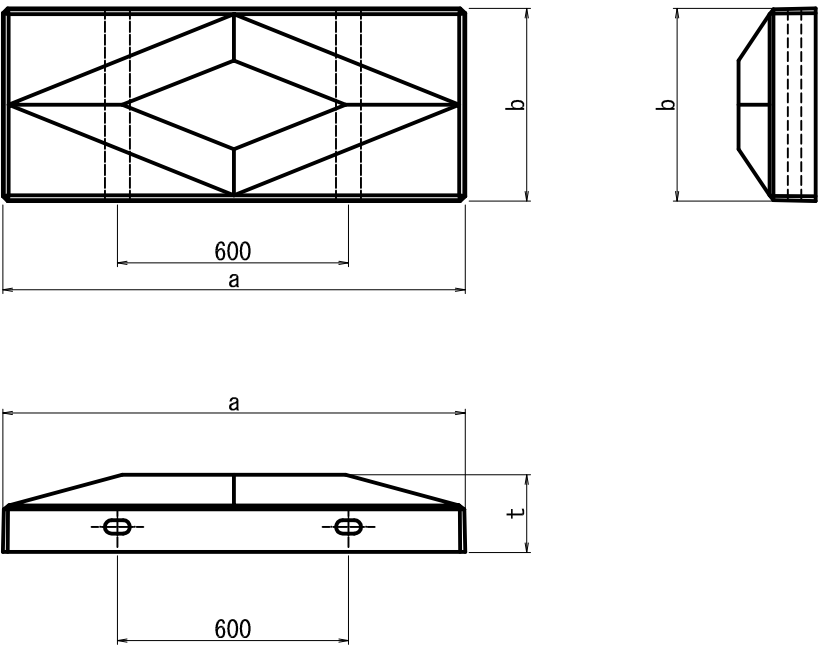
参考数量

(1m² 当り)

タイプ	胴込コンクリート量 (m ³)	裏込工 (m ³)
1	0.18	0.20
2	0.25	0.20
3	0.29	0.20

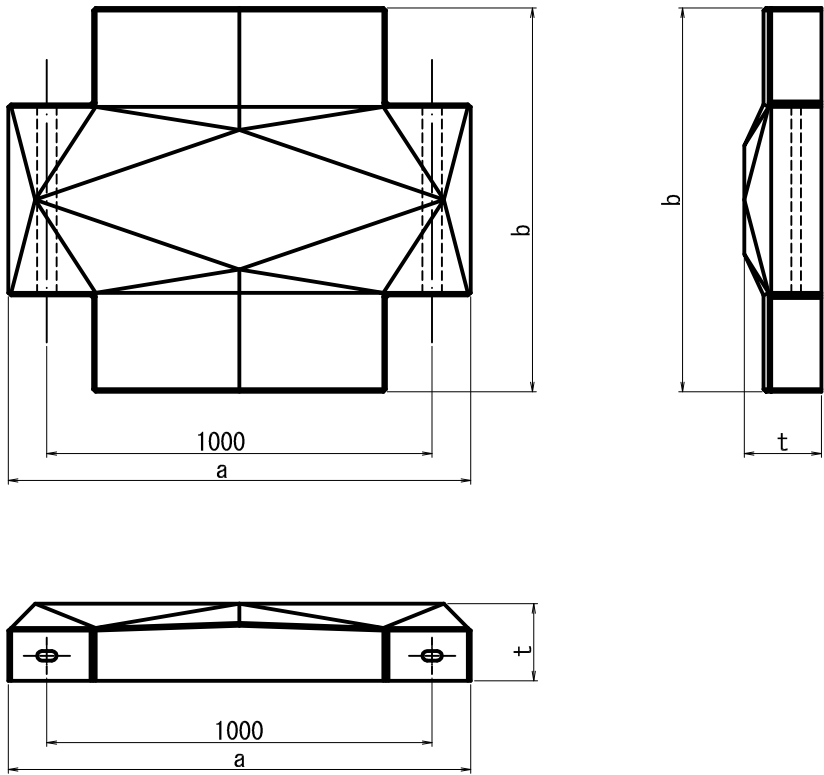
名 称	大型連節ブロック	標準設計番号	河－Ⅱ－6
		工種記号	連－Ⅰ

I 型



呼 び 名	寸 法 (mm)			参考質量 (kg)
	a	b	t	
I 型	1200	500	250	210
Ⅱ 型	1200	996	200～250	360
許 容 差	±3		+8,-5	—

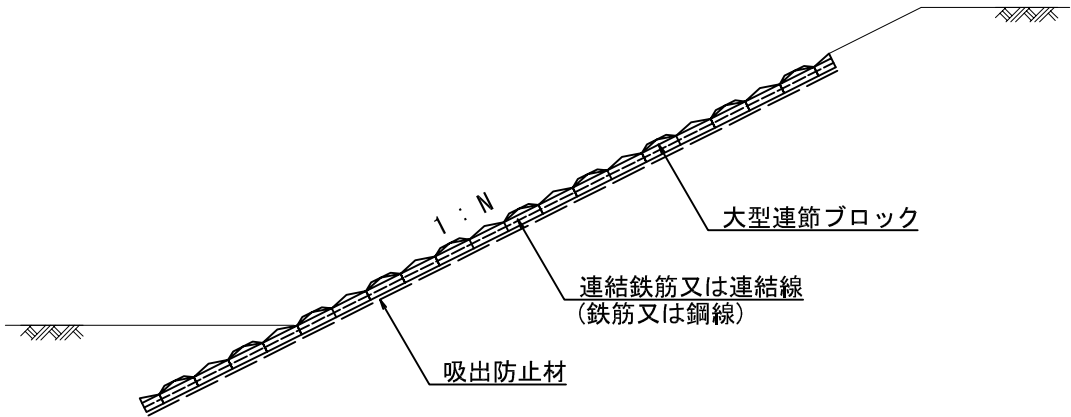
Ⅱ 型



特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 1m^2 当り 350kg 以上とする。
- ・必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。
- ・詳細は「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・面の模様や形状は自由とする。

参考図表



参考数量		(52m ² 当り)	
名 称	規 格	単 位	数 量
大 型 連 節 ブ ロ ッ ク	350kg/m ²	m ²	52.0
止 杭		本	
鉄 筋	φ=13mm D=13mm	kg	74.3
河川護岸用 吸出防止材	t=10mm	m ²	57.2
溶 接 長		m	1.03

名
称

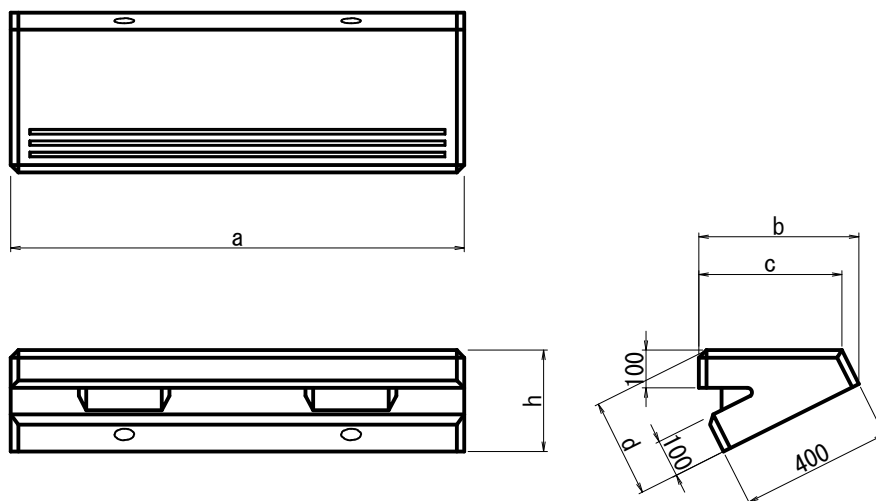
連節階段ブロック

標準設計番号

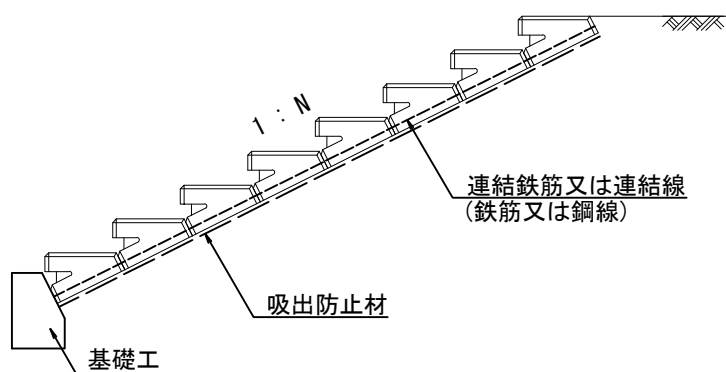
河－Ⅱ－7

工種記号

連－(階段)



呼 び 名	寸 法 (mm)					参考質量 (kg)
	a	b	c	d	h	
1.0型	1200	374	303	300	354	180
1.5型	1200	408	353	285	305	180
2.0型	1200	423	378	260	268	180
2.5型	1200	429	392	238	241	180
3.0型	1200	432	400	220	221	170
許 容 差	±3	±3	—	—	±3	—



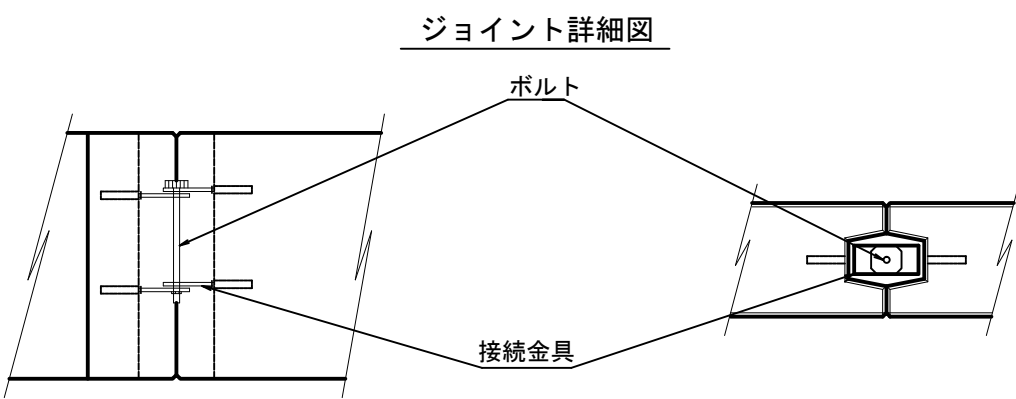
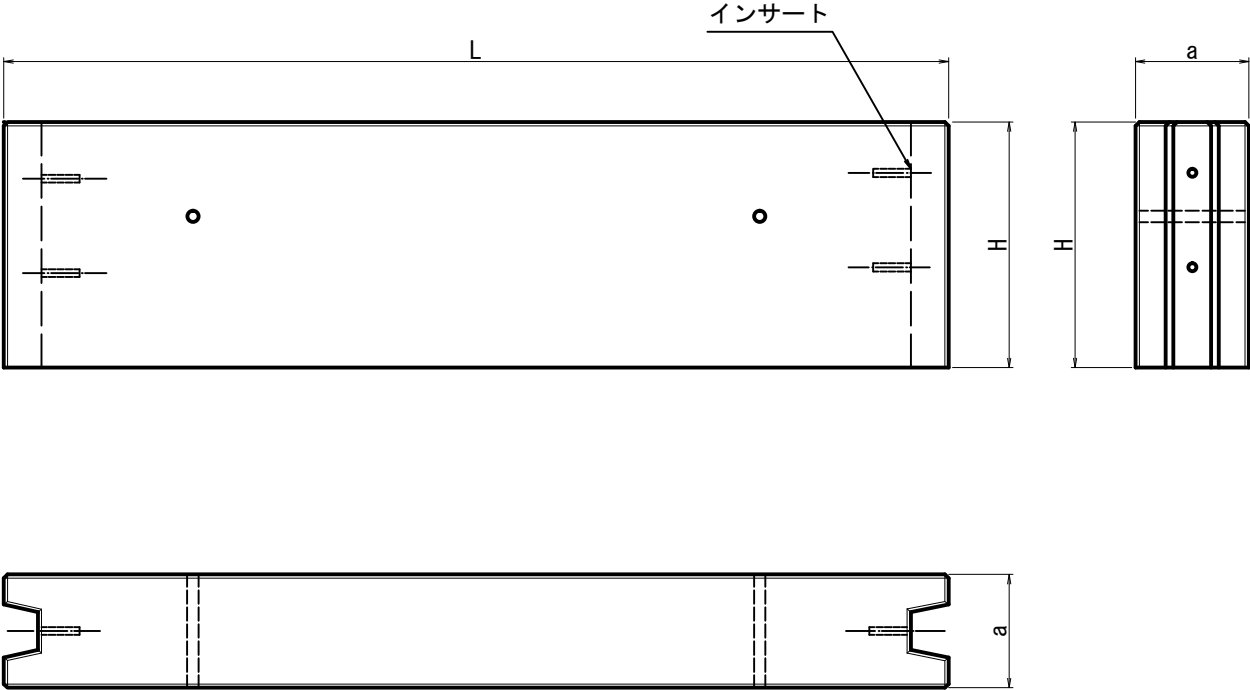
特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。

参考図表

参考数量		(28.8m ² 当り)	
名 称	規 格	単 位	数 量
連 節 階 段 ブ ロ ッ ク	350kg/m ²	m ²	28.8
鉄 筋	$\phi=13\text{mm}$ D=13mm	kg	60.9
河川護岸用 吸出防止材	t=10mm	m ²	31.7
溶 接 長		m	2.16

名 称	隔壁・小口止・巻止ブロック	標準設計番号	河－Ⅱ－9
		工種記号	隔 小口止 巻止



呼び名		寸法 (mm)			参考質量 (kg)
		a	L	H	
隔 壁	500	300	2500	500	830
	550			550	910
	650	400	2500	650	1080
	700			700	1530
	900	500	2500	900	2480
	1000			1000	2760
小口止め		300	3000	1000	2015
		400		1000	2655
巻止め		300	3000	1000	2015
		400		1000	2655
許容差		±3	+5, -3	+10, -5	—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ ブロック同士の接合は専用接続金具を使用し、中詰コンクリートを打設する。

参考図表

呼び名		中詰コンクリート	基礎材量	基面整正面積
		(m^3)	(m^3)	(m^2)
隔 壁	500	0.0120	0.10	0.50
	550	0.0132	0.10	0.50
	650	0.0156	0.10	0.50
	700	0.0308	0.12	0.60
	900	0.0450	0.12	0.70
	1000	0.0500	0.14	0.70
小口止め		0.0240	0.10	0.50
		0.0440	0.12	0.60
巻止め		0.0240	0.05	0.50
		0.0440	0.06	0.60

名
称

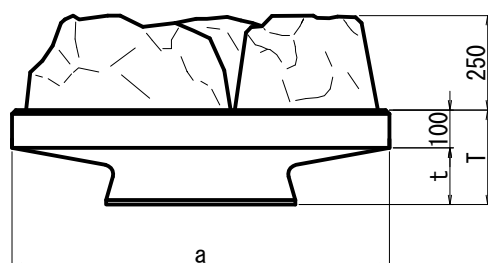
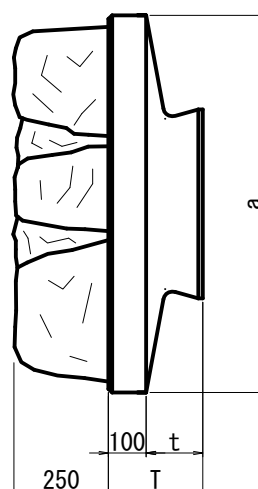
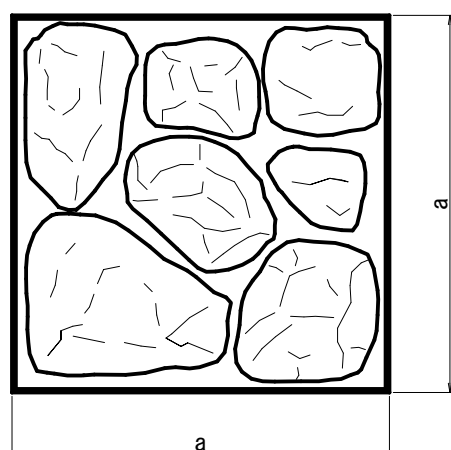
突起型張ブロック

標準設計番号

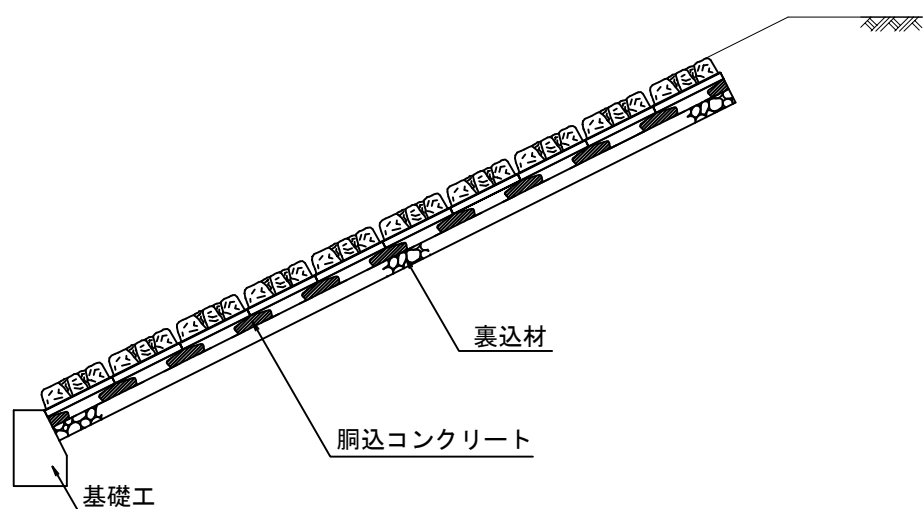
－

工種記号

－



呼 び 名	寸 法 (mm)			参考質量 (kg/m ²)
	a	T	t	
200型	1000	100	0	476
350型	1000	250	150	523
450型	1000	350	250	549
許 容 差	±3	+5,-3	—	—



特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

参考図表

(1m² 当り)

呼 び 名	胴込コンクリート量 (m ³)	裏込工 (m ³)
200型	—	0.2
350型	0.129	
450型	0.218	

名
称

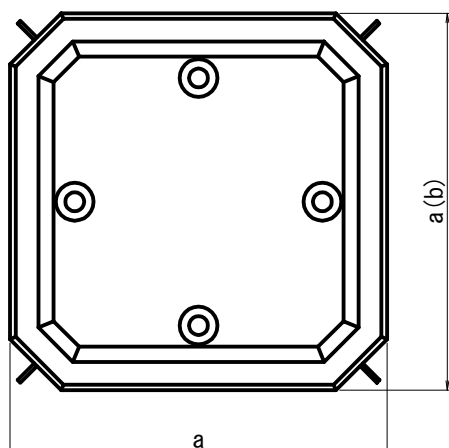
ボックス型平張ブロック

標準設計番号

－

工種記号

－

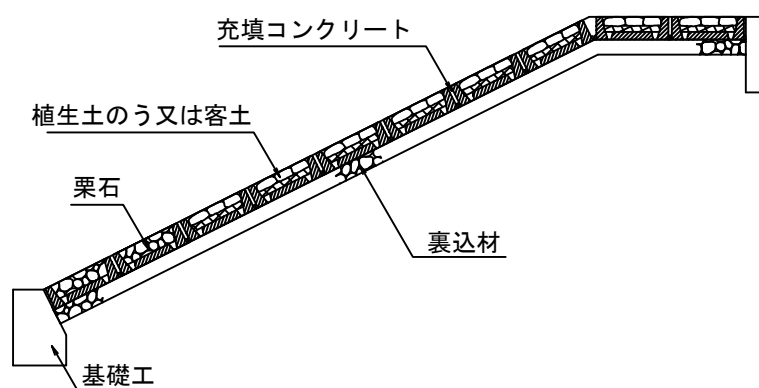


寸法許容差

a、b	T、t
±3	+5,-3



寸 法 (mm)				参考質量
a	b	T	t	
1000～2000	1000	220～400	150～300	350kg/m ² 以上



特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ モルタルや金具を用いてブロック同士を接合する。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

参考図表

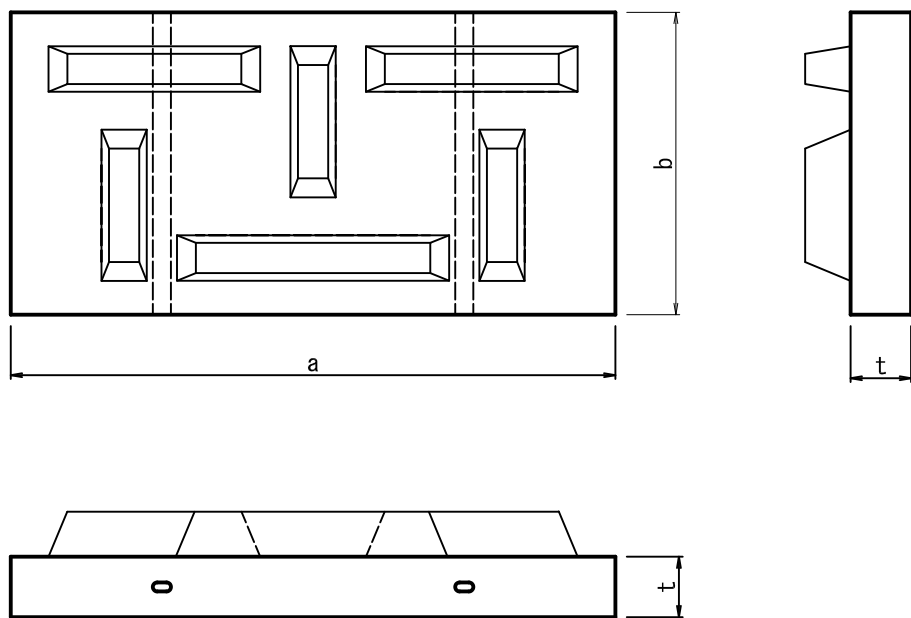
(1m² 当り)

裏込工 (m ³)
0.2

名 称	覆土型連節ブロック	標準設計番号	－
		工種記号	－

標準図

I 型（覆土タイプ）

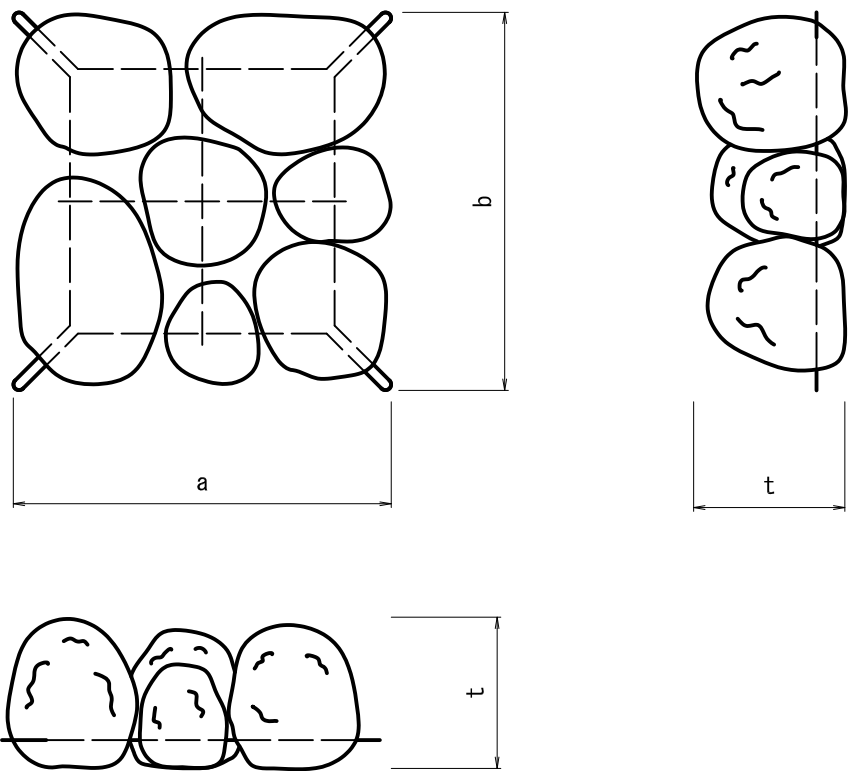


寸 法 (mm)			参考質量
a	b	t	
950～	500～	100以上	350kg/m ² 以上

寸法許容差

a, b	t
±5	+8, -5

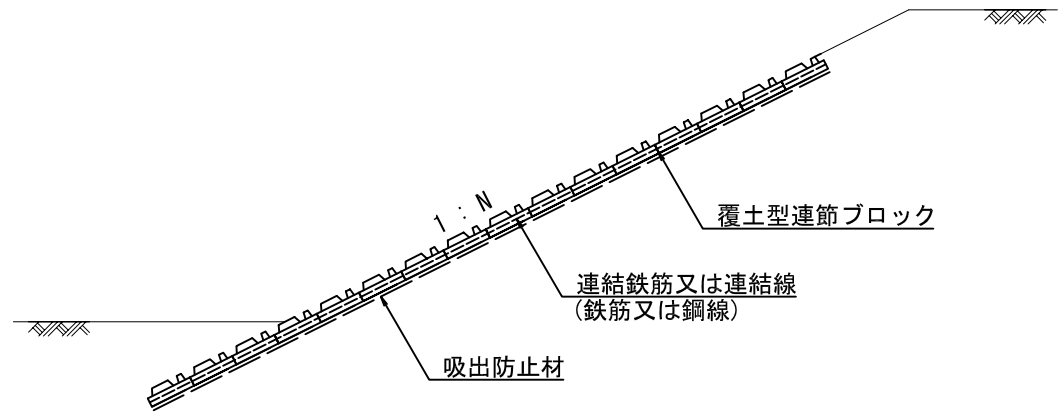
II 型（擬石タイプ）



寸 法 (mm)			参考質量
a	b	t	
1000～	950～	100以上	350kg/m ² 以上

寸法許容差

a, b	t
±5	+8, -5

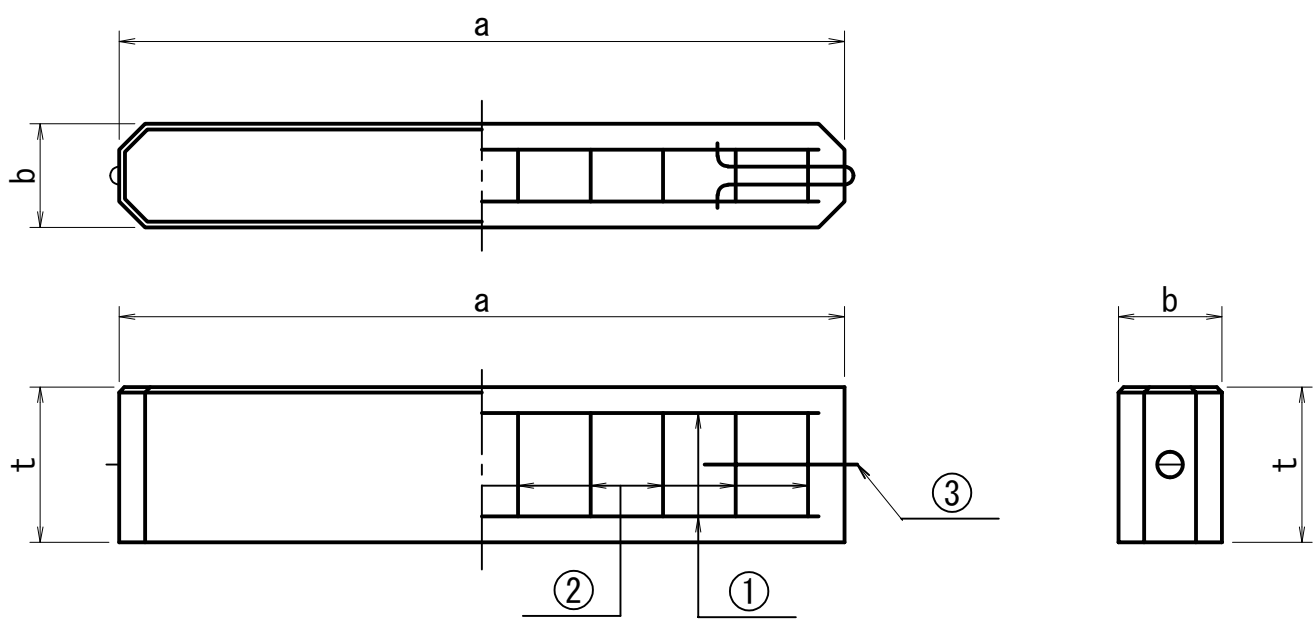


特記事項

- ・詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・連結鉄筋は、SD295又はSR235とする。
- ・面の模様や形状は自由とするが、土砂が流れにくく、自然の蘇生を促す構造とする。
- ・必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

名 称	コンクリート格子枠張	標準設計番号	河－Ⅱ－4
		工種記号	枠

Ⅲ 型



呼び名	寸 法 (mm)			鉄 筋						参考質量 (kg)
				①		②		③		
	a	b	t	径	本数	径	本数	径	本数	
Ⅲ 型	1400	200	300	D10	4	4	10	9	2	197
許容差	±3	±3	+5, -3	—						—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

名
称

魚道ブロック

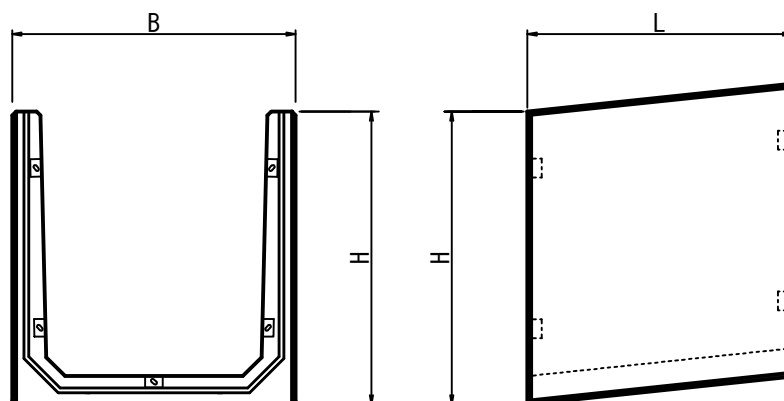
標準設計番号

－

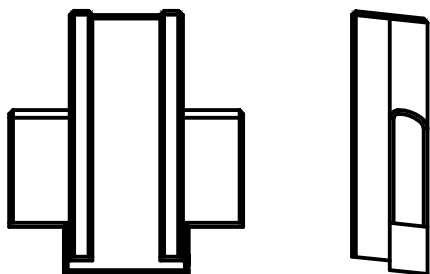
工種記号

－

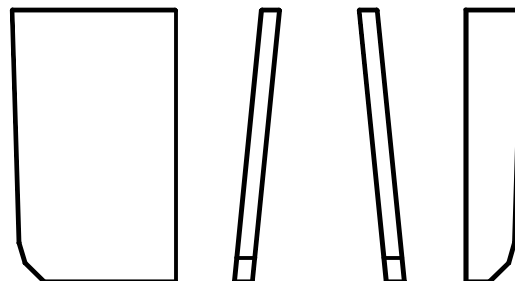
本 体



隔壁 (アイスハーバー)



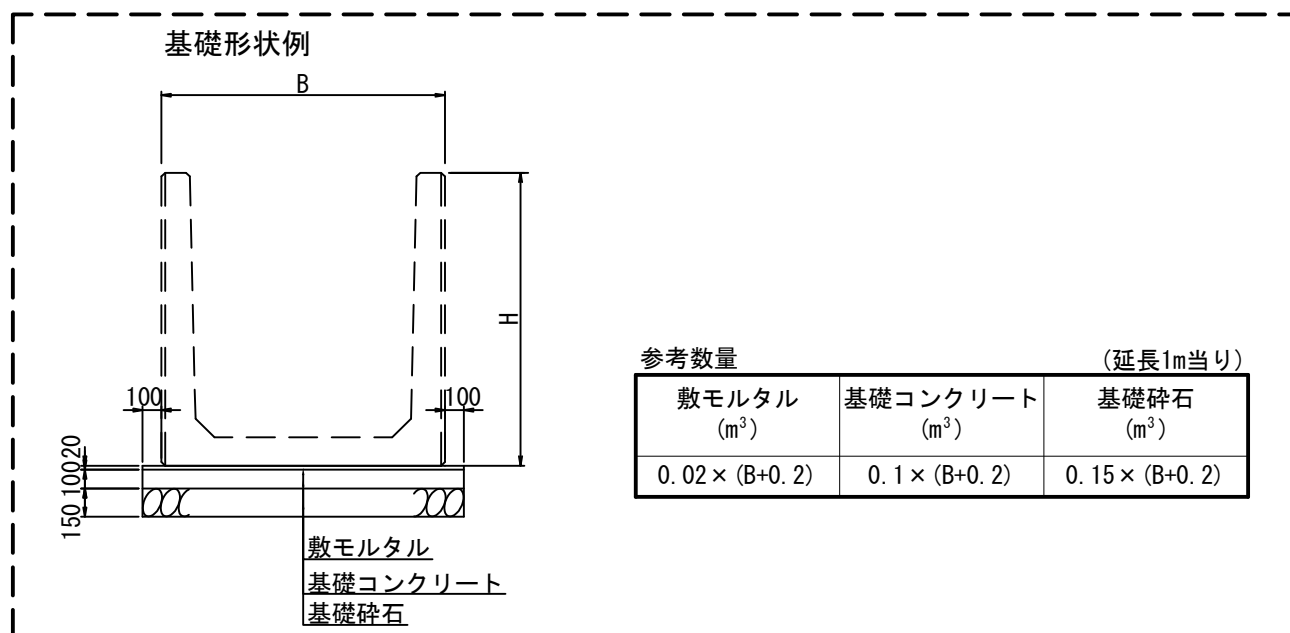
隔壁 (パーティカルスロット)



特記事項

- ・ 詳細は「プレキャスト魚道ブロック工法の手引き（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 とする。
- ・ 水路の形状・隔壁の形状については、現場条件・水理特性等に基づき検討する。

参考図表



監 査 廊

標準設計番号

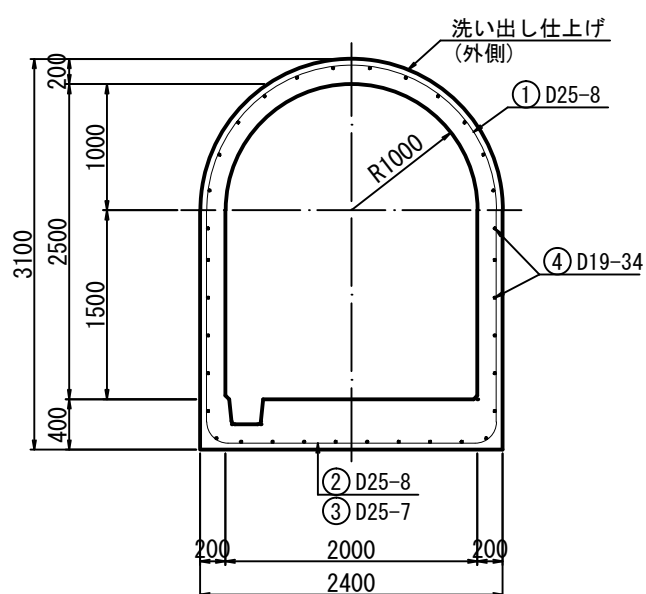
—

工種記号

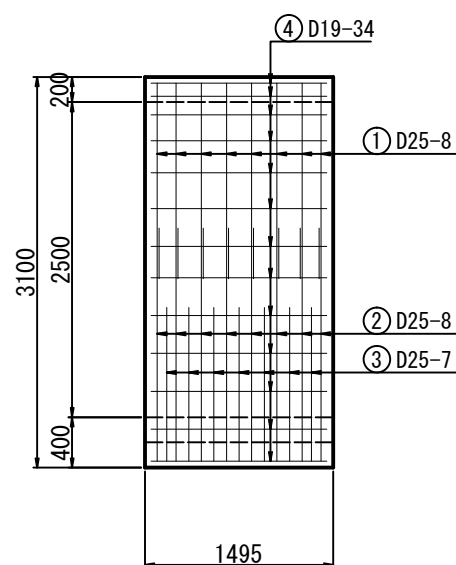
—

[一般水平部]

断 面 図



側 面 図



特記事項

- ・ 部材の種類は他に階段部・交差部がある。

名
称

ブロックマット

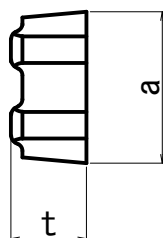
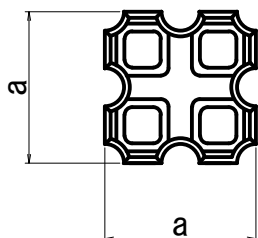
標準設計番号

—

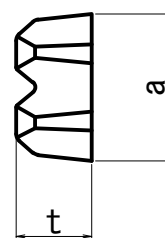
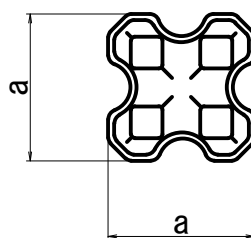
工種記号

—

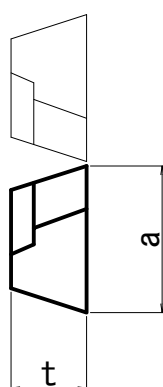
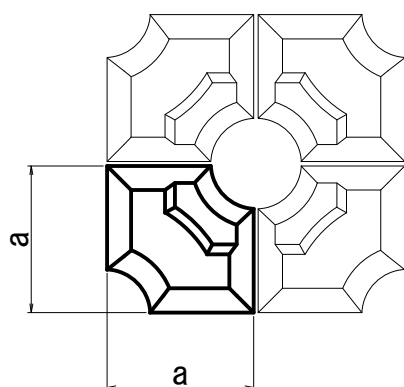
Ⅰ 型



Ⅱ 型

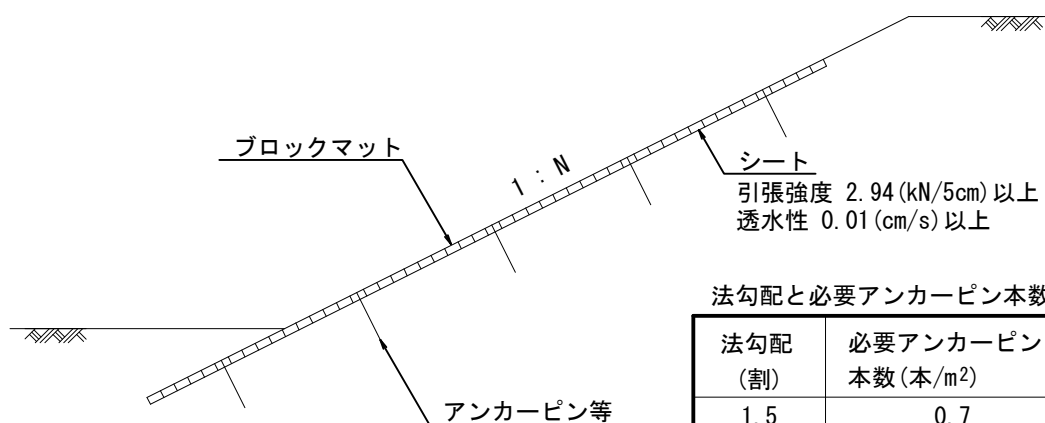


Ⅲ 型



タイプ	寸法 (mm)		参考質量 (kg/m ²)
	a	t	
Ⅰ 型	200	100	135
許容差	±3	±3	—
Ⅱ 型	194	100	140
許容差	±3	±3	—
Ⅲ 型	195	100	125
許容差	+3 -2	+5 -3	—

参考図表



法勾配と必要アンカーピン本数

法勾配 (割)	必要アンカーピン 本数 (本/m ²)
1.5	0.7
1.8	0.6
2.0	0.5
3.0	0.3

L=60cm, D=16mm, コの字型

特記事項

- ・ 詳細は、「河川災害復旧護岸工法技術指針(案) (社団法人 全国防災協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$ 以上。

名
称

波返ブロック

標準設計番号

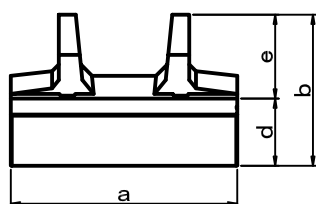
－

工種記号

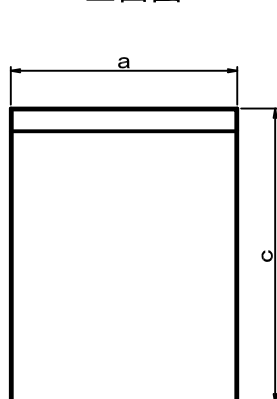
－

I 型

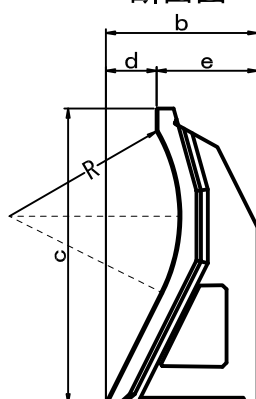
平面図



正面図

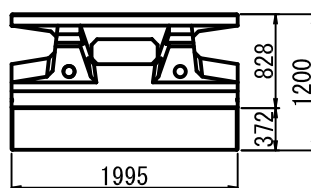


断面図

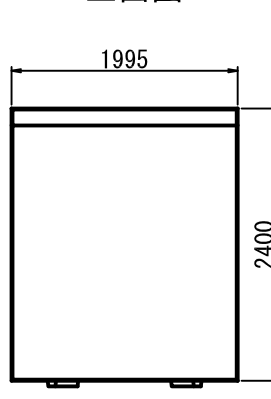


II 型

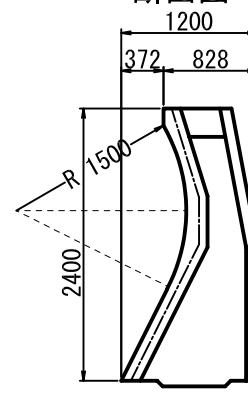
平面図



正面図



断面図



呼び名		寸法 (mm)						参考質量 (kg)
		a	b	c	d	e	R	
I 型	R1.5-1:0.5	1998	1337	2600	447	890	1500	3220
	R1.5-1:0.3	1998	1088	2500	198	890	1500	2948
	R2.0-1:0.5	1998	1286	3000	396	890	2000	3641
	R2.0-1:0.3	1998	1014	2800	124	890	2000	3238
II 型	石川タイプ	1995	1200	2400	372	828	1500	3764
許容差		±5	±5	+10, -5	－	－	－	－

特記事項

- ・ $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295とする。
- ・ I 型の下段ブロックの背面は直壁タイプと1分勾配タイプがあります。
- ・ II 型には下段ブロックが1割、1.5割の緩傾斜タイプもあります。

参考図表

参考数量 (ブロック1個当り)

呼び名		胴込コンクリート (m^3)
I 型	R1.5-1:0.5	2.67
	R1.5-1:0.3	2.33
	R2.0-1:0.5	2.78
	R2.0-1:0.3	2.33
II 型	石川タイプ	1.64

名称

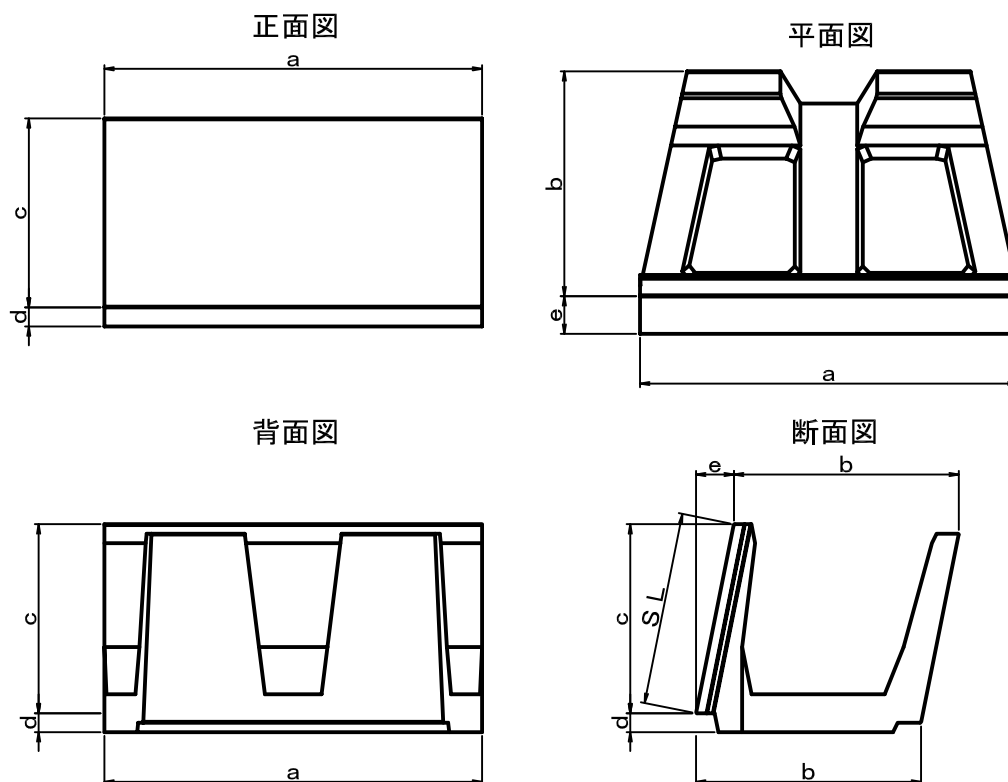
無人化施工用型枠ブロック

標準設計番号

—

工種記号

—



呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg) (化粧タイプ)
	a	b	c	d	e	S L	
直壁	1998	1190	1000	100	0	1000	1744 (1882)
2分	1998	1190	1000	100	200	1020	1688 (1828)
5分	1998	800	1000	50	500	1118	1371 (1525)
許容差	±5	±5	+10, -5	—	—	—	—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295とする。
- ・ () 表示は表面が化粧タイプの参考質量。
- ・ 砂防工事等の落石等の危険が常時ある場所で、人的被害を最小限にする目的で遠隔機械による施工で省人化施工。
- ・ 基礎部の施工方法は現場毎に個別適時判断。

参考図表

参考数量 (延長1m当り)

呼び名	胴込コンクリート (m^3)
直壁	0.81
2分	0.82
5分	0.50